

Eiボード 新元号[令和]の対応と機能改善版(Ver.19.10)の予定

2019年5月1日施行の新元号[令和]の対応と機能改善に対応したEiボード Ver. 19.10の予定をご連絡いたします。

Eiボード Ver. 19.10と新元号に対応したR4アプリケーションをセットでお使いいただくことで新元号[令和]が表示・出力可能となります。

※R4シリーズの新元号[令和]はEiボードで制御していますので、Windowsの新元号のアップデートとは関係なく、出力可能です。

※当内容は変更される可能性がありますのでご了承ください。

1. 発行プログラムと対象バージョン

発行プログラム	発行バージョン	バージョンアップの対象
Eiボード サーバー版 (R4 データベースサーバー含む)	Ver. 19.10	Ver. 14.10 以降
Eiボード クライアント版 (R4 データベースクライアント含む)	Ver. 19.10	Ver. 14.10 以降

※EiボードとR4データベース(サーバー版/クライアント版)のバージョンアップです。

2. 日程

2-1. ダウンロード公開

2019年4月18日(木)

※ダウンロードマネージャー、会計システムマイページ、お役立ちTools(クライアント版のみ)で公開します。

2-2. CD提供

■ Eiボードサーバー版 の送付について

2019年5月6日(月)より発送開始

※「ネットワーク基本ライセンス(SV)」を保有、かつR4アプリケーションのいずれかでCD保守契約を締結しているお客様にEiボードのセットアップCDを直送いたします。

送付内容は以下の通りです。

保有商品	送付内容
IKX 用 NW 基本ライセンス R4	<ul style="list-style-type: none"> ・ Eiボード サーバー版/クライアント版 Ver. 19.10(DVD) 1枚 ・ 送付ご案内(バージョンアップ手順書) 1部
顧問/応援用 NW 基本ライセンス R4	<ul style="list-style-type: none"> ・ Eiボード サーバー版 Ver. 19.10(CD) 1枚 ・ Eiボード クライアント版 Ver. 19.10(CD) 1枚 ・ 送付ご案内(バージョンアップ手順書) 1部

■ E i ボード（クライアント版）のCD保守ユーザー様への送付について
 NW基本ライセンス（SV）を保有していないスタンドアローン版のCD保守のお客様向けに、E i ボード（クライアント版） Ver. 19. 1を送付いたします。

※下記のR4アプリケーションについては、新元号対応されたCDが送付済です。

R4アプリケーションの種類	送付予定
法人税R4	5月初旬予定
減価償却R4	5月初旬予定
所得税R4	5月初旬予定
相続税R4	5月初旬予定

※上記以外のR4アプリケーションは、E i ボードVer. 19. 1を含んだR4アプリケーションCDが送付されます。

3. 変更内容

主な変更内容は以下の通りです。

3-1. 新元号対応

2019年5月1日以降の元号が新元号〔令和〕で表示・出力されるよう対応します。

E i ボードと R4 アプリケーションが新元号対応版になっていれば、新元号に伴う Windows のアップデートをしなくても新元号を出力できます。

■入力方法

〔令和〕の入力は「R」で入力してください。

年号を変更する場合は、先頭に R：令和、H：平成、S：昭和、T：大正、M：明治のいずれかを付けて、年月日を入力します。

■令和の出力

令和1年、令和2年、令和3年と表示します。

損 益 計 算 書					
自 平成31年 1月 1日 至 令和 1年 6月 30日					
名	前月残高	借方発生	貸方発生	当月残高	完上比

■画面イメージ

例1：日付入力画面（会社基本情報）

設立年月日	令和 1年 5月 1日
開業年月日	令和 1年 5月 1日
屋号	令和 1年 5月
フリガナ	日 月 火 水 木 金 土
事業種目	28 29 30 1 2 3 4
事業内容	5 6 7 8 9 10 11
整理番号	12 13 14 15 16 17 18
青色・白色区分	19 20 21 22 23 24 25
	26 27 28 29 30 31 1
	2 3 4 5 6 7 8

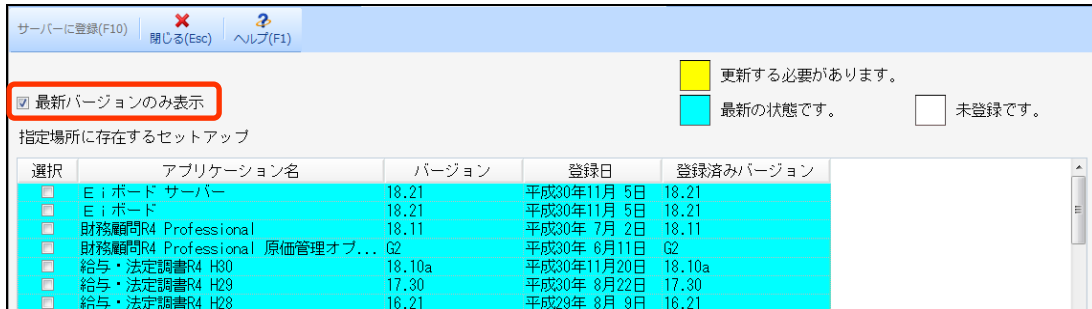
例2：データ選択画面

00.データ選択	01.基本メニュー	02.入力	03.帳票	04.消費税	05.決算	06.分析	07.設定	08.部門	09.原価管理			
選択 (F10)	作成 (F2)	検索 (F3)	基本情報変更 (F4)	再表示 (F5)	削除 (F6)	繰越 (F7)	バックアップ (F8)	リストア (F9)	プレビュー (F11)	共有・転送 (SF10)	保護 (SF11)	コンバータ (SF12)
コード:	法人/個人: 全て	<input type="checkbox"/> 検索表示する	検索数: 2/387									
状態	コード	会社名	期首年月日	期末年月日								
	0402	サンプル個人	平成31. 1. 1	令和 1.12.31								
	0401B	サンプル株式会社	令和 1. 5. 1	令和 2. 4. 30								

3-2. 機能改善

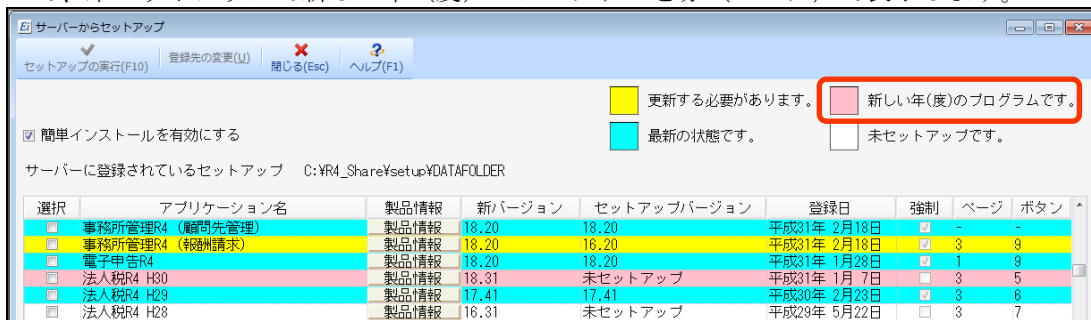
■ ネットワークセットアップの準備画面の改善

- ・ ネットワークセットアップの準備やセットアップ実行画面、サーバーからセットアップ画面、まとめてセットアップ画面等に表示される R4 アプリケーションとバージョンの並びをアプリケーション ID 順 (E i ボード → [会社選択] → 「アプリケーション表示順設定」で変更可能) のバージョン降順で表示します。
- ・ ネットワークセットアップの準備の画面で、最新のバージョンのみ表示する選択を追加します。

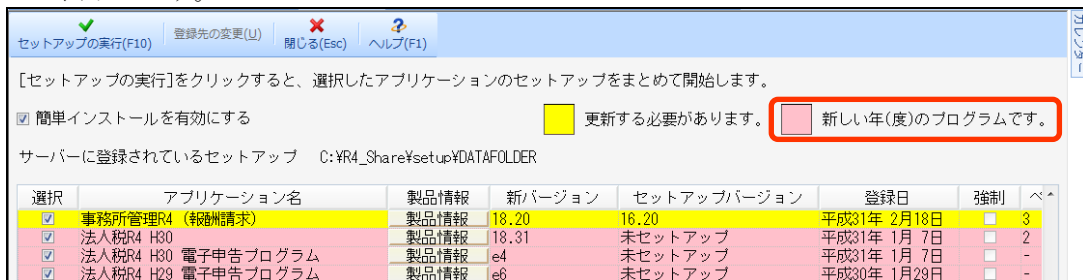


■ E i ボードからのセットアップ画面の改善

- ・ [セットアップ実行] → [登録先からセットアップ] または [サーバーからセットアップ] で、未セットアップで新しい年 (度) のプログラムを赤 (ピンク) で表示します。



- ・ [まとめてセットアップ] で、未セットアップで新しい年 (度) のプログラムを赤 (ピンク) で表示します。



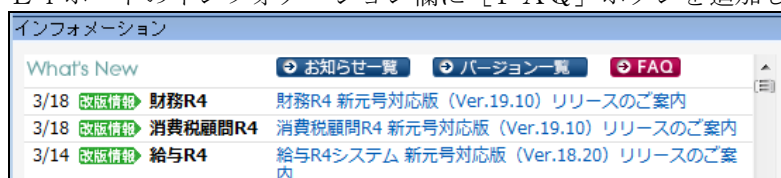
■障害連絡や重要なお知らせのポップアップ表示機能

- ・インターネット環境のある PC の場合、R4 シリーズに関する重要なお知らせの有無をチェックして、お知らせがあった場合は「R4 シリーズ重要なお知らせ」画面を起動して内容を確認できるようにします。



■インフォメーションに [FAQ] ボタンを追加

- ・E i ボードのインフォメーション欄に [FAQ] ボタンを追加します。

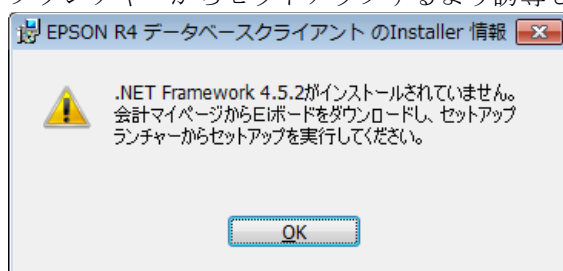


■ライセンス返却申請書変更

- ・ライセンス返却申請書をお送りいただいた後、返却処理完了の連絡をお電話でできるよう、ライセンス返却申請書を変更しました。

■Net Framework 4.5.2、SQL Anywhere17 へのバージョンアップ

- ・E i ボード Ver. 19.1 から、.Net Framework 4.5.2 が動作環境となります。未セットアップの場合は、次の画面を表示して、会計システムマイページからダウンロードしてセットアップランチャーからセットアップするよう誘導します。

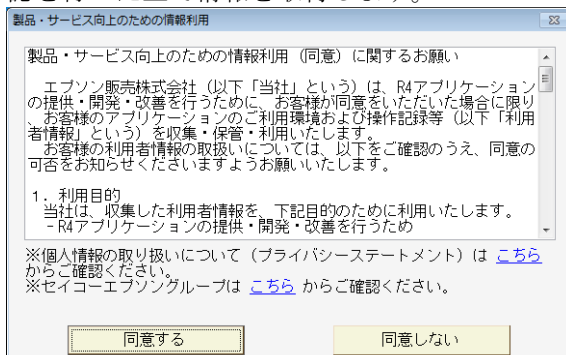


- ・データベースエンジンを、SQL Anywhere12 から、SQL Anywhere17 へバージョンアップします。特にお客様が意識することはありませんが、ネットワーク環境の場合は、サーバーとクライアントのバージョンを合わせてください。

3-3. その他の変更点

■ 「製品・サービス向上のための情報利用」の同意画面を表示

- ・今後の商品／サービス改善のためにインターネットで利用状況の情報を取得するしくみを追加します。E i ボード Ver. 19.1 をセットアップ後、E i ボードまたはR4アプリケーションの初回起動時に、「製品・サービス向上のための情報利用」の同意画面を表示して、同意確認を行った上で情報を取得します。



- ※E i ボードがセットアップされているPCごとに同意確認画面が表示されて設定します。
- ※インターネット環境がないPCの場合は、[同意する]を選択しても情報は収集されません。
- ※[同意しない]を選択してもR4アプリケーションはお使いいただけます。情報も収集されません。
- ※この画面をキャンセルすることはできません。
- ※収集する情報は、動作環境情報、R4アプリケーションの操作情報、本件同意の可否の情報を予定しています。

■ 「製品・サービス向上のための情報利用」同意の変更

E i ボード→ [オプション] → [環境設定] → 「ユーザー環境設定」画面で、「製品・サービス向上のための情報利用」の設定変更と、情報利用内容の詳細内容が確認できるようにします。



- ※収集する情報は、動作環境情報、R4アプリケーションの操作情報、本件同意の可否の情報を予定しています。

3-4. 障害対応

- ・自動エクスポートされたログファイルをE i ボードで読み込みできない障害を修正します。
- ・相続税 R4 の[財産評価]で財産ランチャーの土地の所在地番に削除した「都道府県」が表示されてしまう障害を修正します。

4. バージョンアップの方法

■サーバーとクライアントのバージョンを合わせてください。

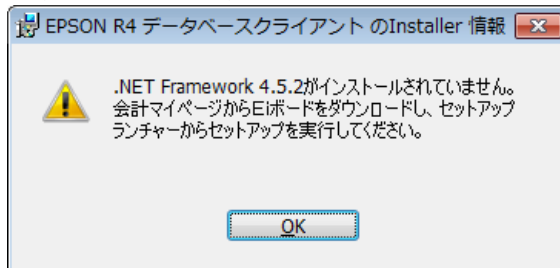
ネットワーク環境の場合、サーバーとクライアントのE i ボードのバージョンを合わせてお使いください。どちらを先にバージョンアップしても問題ありません。

■R4 アプリケーション起動時の自動バージョンアップについて

自動ダウンロードが有効になっている場合（自動バージョンアップを無効にするが OFF）は、E i ボードが自動ダウンロードされた後に R4 アプリケーションを起動すると、E i ボードのバージョンアップを促す画面が表示されて、バージョンアップすることができます。

■Net Framework 4.5.2 以前の場合

バージョンアップする PC の Net Framework が 4.5.2 以前の場合は、次の画面が表示されて、自動バージョンアップやE i ボードからのバージョンアップはできません。



会計システムマイページまたはお役立ち Tools からE i ボードをダウンロードして、セットアップランチャーを起動してセットアップしてください。

※Net Framework は、セットアップランチャー起動前にセットアップが実行されます。

以上、よろしくお願いいたします。